

【情報公開文書】

研究に関するお知らせ

(研究の名称：成人T細胞白血病の臨床分子診断)

国立大学法人京都大学ウイルス・再生医科学研究所では、以下にご説明する研究を行って参りましたが、研究責任者の異動のため2020年3月をもって京都大学での研究を終了することとなりました。本研究に使用した検体、診療情報（カルテの情報）は異動先である熊本大学大学院生命科学研究部にて保管する予定となっております。今後は、将来の研究のための貴重な試料とするため、特定の個人を識別すること及び個人情報情報を復元することができないように研究用ID を割り振り、どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工した上で管理されます。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。尚、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）を今後研究に使って欲しくないと思われた場合にも、下記連絡先までご連絡ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

また、本研究は京都大学の倫理審査委員会において審査を受け、研究機関の長の許可を受けて行われたものです。

■研究目的・方法

成人T細胞白血病（adult T-cell leukemia: ATL）はヒトT細胞白血病ウイルスI型（HTLV-I）の感染によって起こるがんですが、正確な診断のためにはがん細胞中にHTLV-Iを証明する必要があります。この診断は治療方針を決める上でも欠かせません。治療が効果を示し、がん細胞が減ってくるとがん細胞が見つけにくくなります。このため、HTLV-Iが組み込まれているゲノムの遺伝子配列を決めることができれば、がん細胞を見つけることができ、治療方針を立てやすくなります。検体に含まれるDNAという物質を取り出し、遺伝子の配列を解析します。ウイルスが組み込まれている、数多くの遺伝子配列が解析対象となります。

■研究期間

2009年3月18日～2020年3月18日

■研究の対象となる方

研究協力施設にて以下の診断を受けたことがある方

- 成人T細胞白血病（ATL）
- HTLV-I関連脊髄症（HAM/TSP）
- HTLV-Iキャリア

■ ご協力頂いた内容

採取した検体から分離したDNA等の試料（既存試料も含みます）及び、情報データとして診療録に記載された診療情報（年齢、性別、病歴、診断名、予後等）を、研究に使用させて頂きました。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行いました。

■ 共同研究施設及び公的機関への試料・情報の提供

共同研究機関への検体、研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行われました。匿名化対応表は各診療施設の個人情報管理者が保管・管理します。

共同研究機関：英国・インペリアルカレッジ・免疫学部門

■ 研究協力施設（情報の提供のみを行う機関）

慈愛会今村病院分院血液内科・宇都宮 與

大阪赤十字病院血液内科・今田和典

Blood Systems Research Institute, University of California San Francisco・Edward Murphy

国立病院機構九州がんセンター血液内科・末廣陽子

JR 大阪鉄道病院血液内科・高起良

大阪国際がんセンター血液内科・藤重夫

■ 研究責任者：

ウイルス・再生医科学研究所・ウイルス制御分野

客員教授・松岡雅雄、講師・安永純一郎

（異動後の研究施設、役職）

熊本大学大学院生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科

教授・松岡雅雄、准教授・安永純一郎

■ お問い合わせ先

- 京都大学ウイルス・再生医科学研究所

松岡雅雄、安永純一郎（電話075-751-4048）

- 熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科

松岡雅雄、安永純一郎（電話096-373-5156）

- 京都大学 南西地区共通事務部

ウイルス・再生医科学研究所総務掛（電話075-751-3803）